

本日のプログラム

2024年4月10日(水)
通算第3071例会
本年度第28回
瀬戸商工会議所
例会次第

- ・開会点鐘
- ・「四つのテスト」
- ・出席状況
- ・会長挨拶
- ・行事
- ・祝福
- ・幹事報告・次年度幹事報告
- ・委員会報告
- ・その他の報告
- ・卓話 尾張東部衛生組合 施設更新プロジェクトチーム 主査 柴田 謙様「晴丘センターの施設更新について」



第3070回例会 会長 青山 稔君 挨拶

皆さんこんにちは。本日は第3070回 本年度27回目の例会です。本日のゲスト・ビジターはございません。

今日は大変喜ばしいニュースがあるとある情報筋から入ってきました。我が瀬戸 RC 会員の増岡錦也さんが議会承認され正式に瀬戸市名誉市民になられることが決まりました。これは我々瀬戸 RC としても大変誇らしい、名誉あることであります。心よりお喜び申し上げます。おめでとうございます。

先週末に RYLA セミナーが豊田福祉センターで開催されました。私も、鈴木幹事と一緒に伺わせて頂きましたが、開会直前にのっぴきならぬ用で電話が入り、泣く泣く会場を後にせねばならず、鈴木幹事に後をお願いし会場を後に致しました。田中委員長と澤田副委員長の雄姿が見られず申し訳ありませんでした。会場での緊張感、委員会の皆さんのピリピリ具合を見る限り、皆様のご努力で大成功であったと想像できます。お二人ともお疲れ様でした。

前回の3/27日の会長挨拶では東北旅の報告で終始してしまいましたので、お話しできませんでしたが、3/24に国際・青少年委員会の本年度のメイン事業であります、ロータリーユース・コンピューターグラフィック・アワードの表彰式がありまして、鈴木

木伸委員長と行ってきました。普通の表彰式とは全くかけ離れたものでして、デジタルパークの会議室の中で、パソコンを見ながら、パソコンの中の仮想空間(これが、瀬戸市役所の前の公園という設定)の中で、アバターの私がアバターの受賞者を表彰するわけでありまして、アナログ人間の私には全く！理解できなくて、ちんぷんかんぷんの中、変な汗をたっぷり掻きながら表彰を行って来ました。

後ろでは、川本瀬戸市長、青山瀬戸警察署長も同様に変な汗を掻いておられるのが見えました。何事も経験だと自分に言い聞かせ行ってきました。

さて本当に早いもので、もう4月です。今日も、加藤会長エレクトから PETS 報告・次年度会長方針をお話して頂きます。徐々に次年度が始まってきました。本年度終わりがけ、次年度の準備と何かとバタバタする時期ではありますが、やるべきことを一つ一つ丁寧にやって行きたいと考えています。

大変簡単なあいさつになってしまいましたが、本日の会長挨拶とさせていただきます。本日も宜しく願いいたします。

前回例会 記録

- ・2024年4月3日第3070回
- ・場所 瀬戸商工会議所
- ・出席報告 54名 出席会員 44名
当日出席率 91.66%
- ・行事
- ・本人誕生日 加藤 一夫君
加藤 陽一君 小野 隆浩君
- ・ご夫人誕生日 牧 オサム君ご夫人 弘子様
加藤 一夫君ご夫人 雅子様
- ・結婚記念日 増岡 錦也君
- ・卓話
次年度会長 加藤 一夫君
「PETS報告と次年度会長方針」

例会予定

4月17日(水)
次年度クラブフォーラム
担当:次年度会長・幹事
4月24日(水)
規定休日

4月7日(日)名古屋マリオットアソシアホテルにて地区研修・協議会開催



地区研修・協議会後のクラブ内 懇親会



次年度会長 加藤一夫君 「PETS報告と 次年度会長方針」

2024～25年度の会長をさせていただきます加藤一夫でございます。1997. 2. 19に入会させて頂き、28年程在籍させて頂いております。

最初にPETS報告をさせていただきます。PETSとは、会長エレクト研修セミナーの事でありまして。2024年3月2日の土曜日に名古屋観光ホテルに於きまして、午前10時より午後4時30分まで行われ、地区内84クラブの会長エレクトとロータリーアクトクラブからは8クラブの参加で合計91名でありました。午前10時に吉川公章ガバナーエレクトの点鐘から始まり、国歌「君が代」・ロータリーソング「奉仕の理想」、酒井法丈ガバナーの挨拶、続いて香名俊裕次期地区ラーニングファシリテーターの挨拶、吉川ガバナーエレクトの講和がありました。この講和は次年度RIテーマ・地区方針について等、一番重要な内容でありました。

◆次年度RIテーマにつきまして次年度RI会長はステファニーA. アーチックさんと米国ペンシルベニア州 McMurrayロータリークラブに所属されており、1991年に入会されて以来、インドとナイジェリアでの全国予防接種日の活動、ベトナムでの小学校建設、ドミニカ共和国での浄水器設置など、様々な国際奉仕プロジェクトに参加されています。現在は、人道的・教育的奉仕プロジェクトの為に米国内のクラブ・地区がアルバニア、コンゴ、ウクライナのロータリークラブとパートナーシップを結べるよう援助しています。さて、次年度のRIテーマは「THE MAGIC OF ROTARY」で、日本語で言いますと「ロータリーのマジック」であります。これにつきましては、ドミニカ共和国で次年度RI会長ステファニーA. アーチックさんが浄水器の設置を手伝っていた時、浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。機器の機能チェックを終え蛇口を閉めた時に、その少年の一人がアーチックさんの袖をつかみ「もう一度魔法を見せて」と言ったそうです。その子達には魔法に見えたのでしょうか。この事でアーチックさんの人生が変わったと言われてみえます。このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」としたそうです。

◆地区方針につきまして

吉川公章次期ガバナーエレクトは、名古屋南ロータリークラブ所属で大同病院の名誉理事長で医師であります。

2024～25年度の地区方針は、「魅力ある例会 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」で ～行動計画 4つの優先事項にそって戦略計画をであります。

●クラブのリーダーは、自から「四つのテスト」にそってクラブが運営できているかどうか、もう一度再確認してください。真実、公平、好意と友情、ためになるかは、それ自身が他の人の事を思いやる心を持つことの大切さを述べています。皆が「四つのテスト」の心でそれぞれ会員に接しているとき、あなたのクラブはとても魅力的なものとなると確信しています。改革が必要な時は躊躇しないで下さい。今のままでいる為にも全てを変化させなければいけないと言われていました。

●我が国だけでなく、世界全体で社会が大きく変化しようとしています。社会がどのように変わろうともそれぞれの地域には奉仕の心と実行力のある人、行動志向のある次世代の人々がいます。伝統あるクラブの会員とは異なるタイプであってもオープンな心で迎え入れなければなりません。DEI(多様性・公平性・インクルージョン)は全てのロータリー会員、ロータリーファミリー、入会希望者に対して適応されなくてはならないロータリーの大切な行動規範です。今こそロータリ

ーの会員に相応しい高潔性を持って、奉仕の心に満ちあふれた人々がこぞってロータリーの会員になれるよう、我々はDEIの行動規範に照らして対応していかなければなりません。

●国際ロータリーの最優先事項はポリオ撲滅です。主に5歳以下の小児が発病するウイルス疾患で、生涯消えることのない四肢麻痺が残ります。ポリオそのものの治療薬はありません。唯一の方法はワクチンによる予防です。新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は、WHOのメンバーとして1990年から10年間、西太平洋地域でポリオ根絶を目指していたとき、ワクチン購入の資金不足が大問題となった時に、友人のロータリアンから資金提供の話が初めてあったと述べています。その後、地域でワクチン投与が継続され2000年には西太平洋地域でのポリオ根絶が宣言されています。これこそロータリーのマジックではないでしょうか。残すは、パキスタンとアフガニスタンの国境付近での数人の発生を残すまでになっています。あと一歩のために今ポリオブラスに皆さんの力を結集しましょう。

●ロータリーは、社会がより良くなるために新たな行動計画を定めています。「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身のために持続可能でより良い変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界をめざしています」。このビジョンを目指すためにロータリー全ての活動は、行動計画の4つの優先事項に合致して計画をさせなければなりません。優先事項とは、「その活動を終了しても社会にインパクトのある効果が継続しているか」、「活動が広がっており会員基盤の広がりがあるか」、「ロータリーや会員や全てのロータリーファミリーのかかわりが促されているか」、「新たな活動のための変革に適応できているか」の4つです。

続いて、13点の報告があり、午前の最後に地区大会について春日井RCの加藤久仁明実行委員長から開催案内がありました。昼食後に分区グループ懇談・ロータリー財団・公共イメージ向上・会員増強・米山奨学・RFF等についてのお話があり終了しました。近々に単年度から、3年間の行動計画(方針)となると聞いております。

続きまして会長方針をさせていただきます。

2024～25年度は、創立65周年を迎える年度となります。また、70周年に向けスタートする年度となります。次年度の私のテーマは、「4つのテストを実践し、ロータリーを楽しもう」であります。普段の社会生活・仕事そしてロータリーに於いても、先ず4つのテストを念頭に置き行動すべきと考えております。ロータリーも社会も劇的に変化していますが、この「4つのテスト」は変化することなく普遍であると思っております。ロータリアンであれば当たり前であると思っておりますが、時々思い出して頂きたく思っております。それによって、例会やロータリー活動も楽しんで頂けるよう努めて参りたいと思っております。

今年度の方針と致しましては、

●例会の充実をはかり、卓話についても会員の興味を惹くものを検討します。

●役員の役割について、若手の登用を計っており先輩達をロータリアンとして成長して頂けるようアドバイスをして頂き、役務等が重複している場合には、お互い協力して頂くようお願いいたします。

●会員増強につきましては70周年までに会員を70名にして、女性会員を増員の半数を目指します。また退会者についても再入会を促します。

●職業分類につきまして、1業種1名の名残があり、未充填職業分類についての整理をします。

65周年事業の記念事業は、瀬戸ロータリークラブの関係者を中心でお祝いしたいと考えており、式典は記念例会とします。65周年実行委員長青山稔君と刑部祐介君に、委ねておりますので宜しくお願い致します。

今後3年の行動計画を検討する為に、現会長・会長エレクト・副会長と継続的な事業を行えるようにします。そこで先ずグローバル補助金や地区補助金を活用し、中長期的な事業を検討して参ります。

ニコボックス報告(第3070回例会)

会長エレクト 加藤一夫君、本日の卓話、どうぞ宜しくお願い致します。会長 青山稔、幹事 鈴木光彦

妻と私の誕生日を祝って頂きありがとうございます。加藤一夫

いよいよ80才のジジイになります。加藤陽一

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。48歳になりました。これからよろしくお祈り致します。小野隆浩

妻の誕生日をお祝い頂きありがとうございます。夫婦共、年金をありがたく頂いております。牧オサム

結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。心から感謝いたします。

増岡錦也

PETS報告と次年度会長方針をさせていただきます。加藤一夫

次年度会長 加藤一夫君の卓話を楽しみにしています!

青山貴彦、稲垣孝幸、井上伸也、井上博、江坂正光、大澤英雄、大竹一義、刑部祐介、小野隆浩、梶野輝雄、勝谷哲次、加藤五津美、伍春加藤克己、カネ三加藤克己、加藤捷、加藤唐三郎、加藤眞言、加藤光哉、加藤太伸、加藤陽一、加藤令吉、金谷康正、小林稔、澤田武憲、鈴木伸、鈴木紹陶武、鈴木政成、高橋信郎、戸田由久、富田康太、花田薫、藤田哲安、牧オサム、増岡錦也、松村晋也、松本哲也、山口記由、山本英雄、柚木猛